

1 あいさつ

猿投地区まちづくり協議会会長 福岡鉄二

2 平成15年度事業報告

平成15年度まちづくり補助金の実績報告（別添）に基づき報告された。
スケジュール的に余裕を持った事業の実施ができず、活動が委員中心になり、住民の積極的な参加を得ることができなかったことが反省点としてあげられた。

3 平成15年度会計報告

平成15年度まちづくり補助金の決算報告に基づき報告された。

4 平成16年度委員会組織について

別添の名簿により実施することとなった。

5 平成16年度事業計画

事務局案について意見が出され当面は別添のように計画することとなった。

- ・ 積極的な住民参加を得るために、日程をあらかじめ決定し、周知する。
- ・ お鋤山だけでなく籠川堤防の整備についての計画を進める必要があるのではないかと意見が出されたが、作業にも限界があるため、当面はお鋤山を中心に整備することとなった。
- ・ 今後のお鋤山の整備については、植生の自然遷移の段階の中では里山としての植生（落葉広葉樹中心）が最も人間にとって親しみやすいものであり、自然にとっても活性化した状態で、それに沿った整備が望ましい。
- ・ 伐採した樹木を活用した整備作業を進める。



事業報告書

事業名	自然と歴史に親しむまちづくり事業
事業目的	<p>地域住民による活動の中で地域の山河を整備することにより、地域に密着した自然を理解するとともに、地域の環境保全に対する意識を高める。</p> <p>地域住民が、力を合わせて整備を行い、また維持管理を行うことにより、地域住民の連帯感、コミュニケーションを活発にするとともに、地域のイベントを開催し、地域住民が一緒になって自然と親しむ機会をつくる。</p>
実施場所	御鋤山、籠川堤防
事業内容	<p>まちづくり委員会の開催 4回、委員会を開催し、地域の歴史についての調査研究を行うとともに地域の整備計画、事業計画の検討を行った</p> <p>環境美化事業の実施 自治区の環境美化活動の一環として御鋤山の整備を行った（6月）</p> <p>地域住民に対する広報活動 地域の広報紙で広報したほか、組長会において活動への協力をお願いした。また、インターネットのホームページ作成に取り組み、16年4月から公開する予定</p> <p>住民参加による4回の整備活動、維持活動を行った 御鋤山の下草刈り、遊歩道、広場の整備 かぶと虫孵化場の整備</p>
実施結果	<p>お鋤山の整備もかなり進み、自治区のイベントを開催する環境が整った</p> <p>整備するためのチェーンソー、草刈り機等が整備されたため、効率よく整備活動ができるようになった。</p> <p>まちづくり活動を目に見える形で住民に示すことができ、活動への協力がしやすくなった。</p>
事業の効果	<p>地域のまちづくりに対する関心を高めた 整備活動、イベントを通して世代間、地元企業とのコミュニケーションが図れた お鋤山の環境が一段と整備された</p>
他補助制度による助成の有無	なし
継続性今後の活動	平成16年度も引き続き、お鋤山の整備活動を進めるとともに、現地で自治区のイベントを開催する予定

年間活動報告書

月	内 容	
	活動内容	説明
4月		
5月		
6月	御鋤山広場整備（6/8）	しいたけ菌埋込樹木の整理 かぶと虫孵化場の整理
7月	第1回委員会開催（7/8）	猿投地区まちづくり協議会の報告 御鋤山整備計画の検討
8月	第2回委員会開催（8/23）	籠川堤防遊歩道の計画検討
9月		
10月		
11月	第3回委員会（11/27）	御鋤山整備活動内容の検討
12月	植生調査（12/13）	森林インストラクター山田弘先生と猿投農林の雨宮先生同行によるお鋤山の植生調査
1月		
2月	第4回委員会（2/6）	今年度工事計画についての報告と検討
	遊歩道のコース決定と樹木伐採（2/14） 伐採樹木の整理（2/28）	工事が間近に迫り、コースの決定と邪魔な樹木の伐採作業 業者により伐採された樹木を、大きさ別に指定場所に集約した。
3月	役員会（3/28）	平成15年度の事業報告についてとりまとめ

平成16年度 下古屋まちづくり委員会 名簿

役員	会長	下平 廣人		
	副会長	小栗 金夫		
	副会長	木村 安雄		
	会計	安藤 勲		
	顧問	福岡 銑二		
	顧問	雨宮 永		
	運営委員	三矢 宣昭		
	運営委員	磯村 貴史		
	運営委員	浦野 憲二		
委員	竹田 成章	杉山 幸夫	木村 潔	
	小栗 富保	沢村 錠一	内浜化成(株) 総務部 山内浩之	
	松井 利道	原 隆	都築 政洋	
	福岡 康寛	横井 佐奈江	山田 弘子	
	近藤 佐貴子	河合 智恵美	辻 正	
	今井 洋子	梅村 ミユキ	橋本 みよ子	
	松田 とき子	萩原 千秋	加藤 貴志	

事業計画書

事業名	自然と歴史に親しむまちづくり事業
事業目的	<p>地域住民による活動の中で地域の山河を整備することにより、地域に密着した自然を理解するとともに、地域の環境保全に対する意識を高める。</p> <p>地域住民が、力を合わせて整備を行い、また維持管理を行うことにより、地域住民の連帯感、コミュニケーションを活発にするとともに、地域のイベントを開催し、地域住民が一緒になって自然と親しむ機会をつくる。</p>
実施場所	御鋤山、籠川堤防
事業内容	<p>まちづくり委員会の開催 4回、委員会を開催し、地域の実状についての調査研究を行うとともに地域の整備計画、事業計画の検討を行う</p> <p>環境美化事業の実施 自治区の環境美化活動の一環として御鋤山の整備を進める（年2回）</p> <p>地域住民に対する広報活動 地域の広報紙及びインターネットのホームページで活動状況の広報を行う。また、組長会において随時、活動への協力をお願いする。</p> <p>住民参加による整備活動、維持活動を行う 御鋤山の下草刈り、遊歩道、広場の整備 かぶと虫孵化場の整備</p> <p>猿投地区まちづくり協議会活動への協力</p>

年間活動計画書

月	内 容	
	活動内容	説明
4月	第1回委員会開催(29)	前年度事業報告ならびに事業計画の検討
5月	整備活動(16) 予備日(23)	伐採樹木の整理 遊歩道、広場の整備
6月	春の環境美化活動への協力(6)	下草刈り
	猿投地区まちづくり協議会(27)	総会への参加
7月	第2回委員会開催(予定)	猿投地区まちづくり協議会の報告 お鍬山整備計画の検討 イベントの企画
8月	イベント開催	住民参加によるイベントを開催する
	整備活動	しいたけのホダ木の並び替え
9月	秋の環境美化活動への協力(5)	下草刈り 遊歩道の整備
10月	整備活動	遊歩道、広場の整備
11月	第3回委員会(予定)	お鍬山整備活動内容の検討
12月	整備活動(5)	しいたけ原木栽培の材料となる樹木の伐採
1月	整備活動(30)	しいたけ原木栽培の原木作成
2月	第4回委員会(予定)	今年度工事計画についての報告と来年度の事業計画の検討
	整備活動(20)	しいたけ原木に菌の植え込み
3月	役員会(予定)	平成16年度の事業報告についてとりまとめ